



# とやまの チューリップ



富山県推奨  
とやまブランド

## 厳正な審査を経て

富山県内外の有識者で構成する「富山県推奨とやまブランド」育成・認定委員会が、「高い品質と信頼性・安全性」、「オリジナリティ」、「富山らしさ」、「市場性」、「将来性」の5つの基準で品目を評価し、厳正な審査を経て、「富山県推奨とやまブランド」の認定品を決定しています。

## 富山県の極上の産品

「富山県推奨とやまブランド」は、魅力ある富山県産品の中でも、とくに自信を持って誇れる極上の産品です。豊かな自然と歴史、そこで培われた人々の知恵や文化を「とやまブランド」の魅力と結びつけ、「富山」の地域イメージとして国内外に発信しています。

富山県推奨とやまブランド  
「とやまのチューリップ」認定事業者

富山県花卉球根農業協同組合  
砺波市大門381  
TEL.0763-33-2448  
<http://www.tba.or.jp/>

戸出町チューリップ切花生産部会  
高岡市西藤平蔵226-1  
TEL.0766-63-7334

黒東チューリップ切花出荷組合  
下新川郡朝日町大家庄307(あさひ農業経済センター)  
TEL.0765-83-3212

株式会社センティア  
砺波市高波1664-2  
TEL.0763-33-6261  
<http://www.scentia.co.jp/>

砺波切花研究会  
砺波市宮沢町3-11  
TEL.0120-187-173  
<http://www.ja-tonamino.or.jp/>



# 雪のベッドに抱かれて、球根たちは夢を見る。

## 〔10個の球根からはじまつた夢〕

すべてのものが、白一色に塗りつくされる冬。散居に降り積もった分厚い雪の下で、チューリップの球根は、やがて訪れる春の景色を夢見る。

水田が水をたたえ、陽に反射して輝く。無数の緑の島が、海に浮かんでいるように見える散居村の春。そこかしこには、美しい彩りで咲き誇るチューリップの花畠。そんな情景を想いながら、雪の下の球根たちはまどろみの時を過ごす。

富山県砺波市。富山県が全国に誇るチューリップのふるさと。富山のチューリップは、品質の高さ、オリジナル性から国内市場で高い評価を受ける。

90年あまり前、この地で花に心血を注いだ若者がいた。  
水野豊造である。

花が好きだった豊造は、10球ほどの球根を手に入れ、チューリップ栽培に挑む。砺波の小作農家は雪と闘ってきた。「雪に埋もれる砺波で、花ができるはずがない」と言う人もいた。

やっかい者と思われていた



富山のチューリップの父 水野豊造



昭和12年の球根出荷風景

## 〔生産者一丸で球根生産県をめざす〕

雪は、球根栽培には恵みとなつた。地中の温度と湿度を一定に保ち、霜柱から球根を守つた。雪は冬ごもりする球根のふかふかのベッドだった。あるとき、花を切り取つた後の球根を調べた。ふつくらと育つた見事な球根だった。「砺波の風土はチューリップに適している。日本一の球根産地をめざそう」。豊造は決意する。

「良い球根かどうかは花が咲くまでわからない。『球根は信用が命』というのが父の口癖だった」と嘉孝さん。組合員のたゆまぬ努力と研鑽により、昭和39年には、輸出球が1929万球を達成。昭和48年には出荷球数が4481万球を記録し、富

山県は日本一の球根生産県となる。わずか10球の球根から

なく、生産者が団結するこ語る。

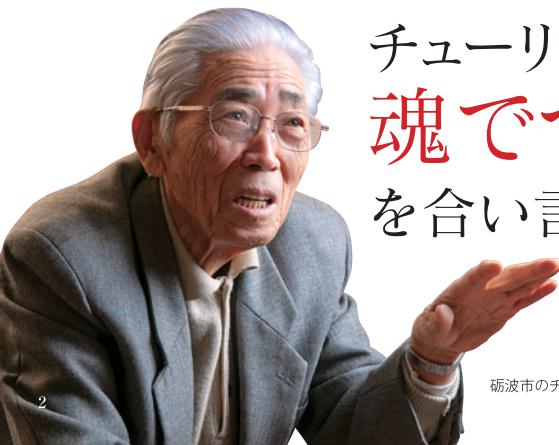
チューリップは  
魂でつくれ、  
を合い言葉に。



砺波市のチューリップ生産者 水野嘉孝さん



球根が植えられた畑の高うねに雪が降り積もる



写真提供：砺波野.JP

# 腹をすかせた球根に、雪解けの水が乳をやる。

## 【水と土の恵みが球根に味方した】

「富山県は、雪以外にもチューリップが育つ好条件が揃っていたんです」と富山県花弁球根農業協同組合の水越久男さんは話す。庄川、黒部川など幾筋も

の河川によつて形成された扇状地は、水はけのいい砂壌土の河川によつて形成された扇状地は、水はけのいい砂壌土

地帯。そこには、水田に水を

引くための灌がい用水が縦横に張りめぐらされている。

豊富な水と水はけの良さが揃つた富山県の扇状地は、生育段階に合わせた水分供給が決め手となるチューリッ

プ栽培にとって、またとない好適地であった。

水田裏作として秋に植え

られる球根は、翌年の春に芽を出すまで土の中でじっと耐える。根を伸ばし、萌芽して肥り始める4月から5月は、水分をたっぷり欲しがる。反



対に、6月からの充実期、収穫期は水を嫌う。

春にはゆたかな雪解け水がある。乳をむさぼる赤ん坊のように球根は水を吸い、すくすくと育つ。乾燥が必要な6月には、水はけの良い土壤が球根の充実に味方する。「適地であったこと、何より、チューリップに人生を捧げたリーダーたちがいたこと。このことが、富山を日本一の球根生産県に育てたのです」(水越さん)

## 【品質管理にも息づく豊造イズム】

同組合では、県内で生産されるすべてのチューリップ球根を対象に、「富山県球根検査条例」にもとづく厳しい検査を行つている。

まずは、ほ場で生育中の球根を対象に、生育状況や異品種混入、病害虫の有無を調べるは場検査が実施される。合格した球根は掘り取つた後、品質や形状などを調べられる。検査にパスしたものは、さらにきめ細かな格付が行われる。幾つもの閑門をくぐり抜け、ようやく全国の市場へと出荷される球根は、その確かな品質において、各地の種苗業者から絶大な信頼を得る。「魂でつくる」豊造イズムが、ここにも息づいている。



入善町に広がる黒部川扇状地は、砺波と並ぶチューリップの産地である



上、中：生育状況を調べる特性調査や、組織培養による品種増殖など、一つの花が生まれるまで何年もの時間が費やされる 下：「黄小町」は富山県のオリジナル品種

成したオリジナル品種はおよそ130品種。そのうち、「黄小町」「白雲」などの4品種は、世界のチューリップ王国であるオランダでも品種登録されている。

交配して種をつくり、最初の花が咲くまで5年、新品種として発表するまでなんと20年。気が遠くなるような年月を経て、チューリップは産声を上げる。研究員や生産者にとつて、それまでの苦労が報われる瞬間である。

春、東京銀座の通りでは、富山のチューリップ20万本分の花びらが300メートルにわたってストリートを埋めつくす。恒例のイベント「銀座みゆき通りフラワーカーペット」。色とりどりの花弁によって描かれた15枚の絵が、まちゆく人の心を和ませる。

雪国の中、人に愛されて育ったチューリップは、今度は故郷を遠くはなれた場所で、誰かを幸せにする。

#### message

##### 咲いてほしい日に咲かせる技術

みやざきまさよ  
宮崎雅代さん  
チューリップ文化振興協会理事

「トピアリー」をはじめ、植物を使ったオブジェの魅力を伝える活動をしています。品質の確かさと品種の豊富さが特長の富山のチューリップですが、開花時期を自在にコントロールするような高い技術があることも見逃せません。花を飾る環境や条件に合わせて、生産者の優れた技が、イメージどおりの美しさを演出してくれます。



#### 【関連施設】



砺波が誇るチューリップの博物館。ガラス張りの建物で、一年中チューリップの魅力に触れ合える。カフェやショップのほか、県内生産者が育てたオリジナル品種も展示。隣接の砺波チューリップ公園では、平成23年に60回目を迎える「チューリップフェア」が開催される。

##### チューリップ四季彩館

①砺波市中村100-1  
②JR砺波駅より徒歩15分  
③0763-33-7716  
④9:00~18:00  
⑤水曜・第3木曜(祝日の場合開館)、年末年始

⑥小・中学生150円、大人・高校生300円、  
65歳以上 240円



# チューリップに惚れています。

今も昔もみんな、



2100もの品種が保存栽培される園芸研究所試験圃場

## 【球根技術が活きる 切花生産】

チューリップへの情熱は受けがれ、新たな熱い息吹が生まれている。砺波市や高岡市、入善町では、チューリップの切花生産に取り組む。

富山県のチューリップ切花



年間約700組の交配が行われている

チューリップへの情熱は受けがれ、新たな熱い息吹が生まれている。砺波市や高岡市、入善町では、チューリップの切花生産に取り組む。富山県のチューリップ切花

栽培の難しい品種であつても、長年の球根栽培で培つたノウハウが、切花栽培を可能にしている。消費者の多様なニーズに応えた切花生産は、日本一の球根产地ならではの高い技術がバツクボーンとなっているのだ。

栽培の難しい品種であつても、長年の球根栽培で培つたノウハウが、切花栽培を可能にしている。消費者の多様なニーズに応えた切花生産は、日本一の球根产地ならではの高い技術がバツクボーンとなっているのだ。

は、希少品種が多いのが特長だ。「ユリ咲き」「八重咲き」「フリンジ咲き」といった変わり咲き品種は、フラワー・コメディネーターなどのプロフェッショナルに高い人気を誇る。嗜好品である花には流行がある。消費者はたえず新しい美しさを求める。ニーズを先読みしながら、生産者たちは次の切花を仕掛けていく。

栽培の難しい品種であつても、長年の球根栽培で培つたノウハウが、切花栽培を可能にしている。消費者の多様なニーズに応えた切花生産は、日本一の球根产地ならではの高い技術がバツクボーンとなっているのだ。

栽培する。これらを材料にして、病気に強く、市場性の高い新品种を開発するため、日々、研究が行われている。

同研究所や県内農家が育



球根の植え付けは11月。農家が総出で作業を行う

## 【愛された花は 人を幸せにする】

富山県農林水産総合技術センター園芸研究所の試験圃場には、様々な品種のチューリップが栽培されている。

世界中に数千種あるといわれるチューリップのうち、同研究所遺伝資源センターでは約2100の品種を保存栽培する。これらを材料にして、